

【新規設定コース】

技能・技術実践研修カリキュラム

※記載内容は変更となる場合があります

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
A1	技能競技成績の構造分析と競技力向上のための訓練設計－2028技能五輪国際大会に向けて－	未定	150	2 (集合1)
開催会場	未定	技能・技術分野		共通
		技能・技術レベル		—
		技能・技術要素		—
研修のねらい及び到達目標	第48回技能五輪国際大会の成績を、単なる結果ではなく得点構造・競技構造・国際比較の観点から分析し、その差分を具体的な訓練課題へ変換できる能力を習得する。特に2028年日本大会を見据え、勝利条件から逆算した訓練設計能力の獲得を目的とする。			
最低限必要な知識	技能五輪国際大会参加に関する知識			
研 修 内 容	項 目 ( 予 定 )		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、集合研修前に基礎的な事前課題が提示され、集合研修日に取り組んだ結果を提出いただきます。 事前課題は、集合研修での解説等でフィードバックが行われます。			(6) H
	事前課題：指定フォーマットによる成績分析（拡張） WSOS別分析、Module別得点構造、上位国との比較（最低1カ国）			
	1. 第48回技能五輪国際大会の成績とその構造 (1) 成績の見方 (2) 成績が意味するもの（評価） (3) なぜその成績であったのか (4) 競技構造分解		1 H	
	2. 成績の正しい分析方法 (1) 統計的分析 (2) 採点基準との紐づけ (3) 国際比較分析 (4) 敗因の階層分解		3 H	1 H
3. 次期訓練計画の策定とそのポイント (1) 金メダル条件の定義 (2) ギャップ分析と課題化 (3) 訓練設計 (4) 評価とフィードバック設計 (5) 実行管理		1 H		
			5 H	1 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	成績を正しく分析しフィードバックしなければ、次期の訓練計画は曖昧なものとなってしまいます。本研修では、正しい分析方法とはどのようなものなのか、何をどのように訓練計画に反映させるべきなのかを学ぶコースです。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	菊池 拓男 (情報通信ユニット) 市川 修 (メカトロニクスユニット) 外部講師			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト(予定)				